



2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社PKSHA Technology 上場取引所 東
コード番号 3993 URL https://pkshatech.com/
代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)上野山 勝也
問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営管理本部長 (氏名)久保田 潤至 (TEL)03-6801-6718
半期報告書提出予定日 2026年5月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		調整後EBITDA		事業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	18,712	85.8	4,253	50.8	3,401	58.5	3,071	△6.0	1,935	△8.4	1,865	△11.2
2025年9月期中間期	10,072	24.0	2,820	25.3	2,145	6.2	3,269	46.8	2,113	50.3	2,100	49.6

- (注) 1. 調整後EBITDA = EBITDA + 株式報酬関連費用 + 有給休暇引当金繰入
2. 事業利益は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した、日本基準における営業利益に相当する指標です。
3. 2026年9月期中間期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年9月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

	中間包括利益合計額		基本的1株当たり中間利益	希薄化後1株当たり中間利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	1,796	△17.4	60.07	60.05
2025年9月期中間期	2,174	55.4	67.68	67.61

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	53,829	36,309	35,730	66.4
2025年9月期	54,559	34,749	34,456	63.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後EBITDA		事業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	60.8	6,700	23.1	5,000	29.0	2,850	7.3	91.76

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 調整後EBITDA = EBITDA + 株式報酬関連費用 + 有給休暇引当金繰入

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年9月期中間期	31,948,000株	2025年9月期	31,948,000株
2026年9月期中間期	909,137株	2025年9月期	891,409株
2026年9月期中間期	31,057,714株	2025年9月期中間期	31,033,254株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約中間連結財政状態計算書	5
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	7
要約中間連結損益計算書	7
要約中間連結包括利益計算書	8
(3) 要約中間連結持分変動計算書	9
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報)	12
(後発事象)	14

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「未来のソフトウェアを形にする」というミッションのもと、自然言語処理、画像認識、機械学習/深層学習技術を用いたアルゴリズムの研究開発、ソリューション提供、プロダクトの拡販による社会実装を進めております。

AI Research & Solution事業では、アルゴリズム・知能化技術の事業化を行っており、パートナー企業のニーズに合わせて共同研究開発からソリューションの提供までを一気通貫で実施しております。また、実オペレーションを通じた製品/サービス開発の一環で、IoT機器からリアル空間のデータをクラウド上に収集し顧客への価値提供を実現するサービスの開発を、モビリティ事業（駐車場機器の製造販売事業）を通じて行っております。

AI SaaS事業では、AI Research & Solution事業におけるアルゴリズムの開発成果をもとに、汎用的なニーズに対応するプロダクトを販売しております。企業における「顧客接点」及び「社内業務」領域向けにソフトウェアプロダクトを提供することで、人の業務を効率化し能力を拡張していく形で、ビジネス支援や企業の課題解決を実現しております。

AI Powered Worker事業では、AI Research & Solution事業・AI SaaS事業における開発成果やプロダクトの知見を活かした多様な領域向けのAIエージェントによってプロフェッショナル人材の能力を拡張（エンパワー）して顧客への価値提供を行っております。具体的には、当社AI技術を活用しながら、幅広い人事ソリューションやマッチングプラットフォームを通じたプロフェッショナル人材のスキルや知見の提供により、企業の課題解決を実現しております。

当中間連結会計期間は、深刻化する人材不足とAIの技術進化による顧客ニーズの高まりを背景に、顧客基盤の拡大、及びAI Research & Solution事業、AI SaaS事業、AI Powered Worker事業の3事業の相乗効果を活かした事業拡張を目指す成長戦略のもと、当社グループ内の事業間連携の強化及び顧客への未来提案を推進してきた結果、AI Research & Solution事業におけるソリューション案件数、AI SaaS事業におけるプロダクトの導入社数及び年間経常収益、並びにAI Powered Worker事業における案件数の積み上げを着実に実現しております。また、今後の成長に向けて優秀な人材の採用を進めるとともに、ソフトウェアプロダクトの強化や研究開発などの先行投資に注力してまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上収益は18,712,941千円(前年同期比85.8%増)となりました。これは主に、AI Research & Solution事業におけるソリューション案件の獲得とAI SaaS事業におけるプロダクトの販売が拡大したこと、及び前連結会計年度に子会社化した株式会社サーキュレーション（以下「サーキュレーション」という。）がAI Powered Worker事業として連結業績に寄与したことによるものであります。また、モビリティ事業につきましても前年同期比で堅調に推移しております。

事業利益は3,401,264千円(前年同期比58.5%増)となりました。これは主に売上収益が増加したことによるものであります。

税引前中間利益は3,071,627千円(前年同期比6.0%減)、親会社の所有者に帰属する中間利益は1,865,630千円(前年同期比11.2%減)となりました。これは事業利益が増加した一方で、前年同期において、主に株式会社Sapeetに対する保有株式の一部売出しに伴う関係会社株式売却益及び残存持分の公正価値での再評価による評価益を計上していたことによるものであり、前年同期における当該要因を控除した場合には増益（前年同期比：税引前中間利益58.1%増、親会社の所有者に帰属する中間利益61.9%増）となっております。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同期との比較・分析は変更後の区分に基づいて記載しております。詳細につきましては「2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)」をご参照ください。

(AI Research & Solution事業)

AI Research & Solution事業につきましては、生成AIの出現に伴って当社の強みである自然言語処理技術の適応範囲が拡張しており、パートナー企業からのニーズに対応したアルゴリズムソフトウェアの研究開発やソリューション案件が継続して増えていることから、売上は堅調に推移いたしました。また、モビリティ事業において、顧客である駐車場運営会社の新規駐車場開設への投資意欲が改善しており、前年同期比で駐車場機器の販売が増加いたしました。

この結果、売上収益は6,564,050千円(前年同期比31.0%増)、セグメント利益は1,886,187千円(前年同期比59.7%増)となりました。

(AI SaaS事業)

AI SaaS事業につきましては、AI SaaSの導入による業務の高度化・自動化を進めるニーズが拡大している環境の中で、自動応答エンジンを中心にAI SaaSの新規受注とライセンスの積み上げを進めてまいりました。AI SaaS事業下にある連結子会社間及び事業間での連携を推進し、新規顧客の獲得及び既存顧客への相互送客等を通じて売上並びに利益の成長に繋げております。

この結果、売上収益は5,613,550千円(前年同期比32.4%増)、セグメント利益は1,856,486千円(前年同期比21.7%増)となりました。

(AI Powered Worker事業)

AI Powered Worker事業につきましては、深刻化する人材不足と生成AIの普及に伴った「人」による高い生産性での価値提供への期待が急速に高まっている環境の中で、当社の強みであるAI及びAIエージェントに関する高度な開発力を活かして、領域毎に生産性・創造性を拡張(エンパワー)されたプロフェッショナル人材による顧客への多様な価値提供を進めております。前連結会計年度に子会社化したサーキュレーションにおいてはプロフェッショナル人材の能力を拡張する基盤の開発・強化を進めつつ、案件数を積み上げ、売上並びに利益の成長を実現しております。

この結果、売上収益は6,702,209千円(前年同期比638.0%増)、セグメント利益は536,838千円(前年同期比349.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は53,829,423千円となり、前連結会計年度末に比べ729,849千円減少いたしました。主な減少要因は、営業債権及びその他の債権が1,007,175千円、のれんが876,882千円、その他の流動資産が720,165千円増加したものの、現金及び現金同等物が3,528,250千円減少したことによるものであります。

負債の状況

当中間連結会計期間末における負債合計は17,520,072千円となり、前連結会計年度末に比べ2,289,825千円減少いたしました。主な減少要因は、借入金(非流動)が2,726,347千円、未払法人所得税が566,238千円、その他の流動負債が367,444千円増加したものの、借入金(流動)が6,047,434千円、その他の金融負債(非流動)が228,725千円減少したことによるものであります。

資本の状況

当中間連結会計期間末における資本合計は36,309,351千円となり、前連結会計年度末に比べ1,559,975千円増加いたしました。主な増加要因は、資本剰余金が327,474千円、その他の資本の構成要素が130,046千円減少したものの、利益剰余金が1,868,999千円、非支配持分が285,810千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の連結業績予想につきましては、2025年11月13日に公表いたしました「2025年9月期 決算短信」に記載した内容から変更はございません。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度末 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間末 (2026年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	19,358,045	15,829,794
営業債権及びその他の債権	4,263,752	5,270,927
その他の金融資産	29,373	29,373
棚卸資産	621,606	482,547
未収法人所得税	35,790	—
その他の流動資産	597,189	1,317,354
流動資産合計	24,905,758	22,929,998
非流動資産		
有形固定資産	1,657,558	1,754,581
使用権資産	1,260,486	1,389,605
のれん	12,628,196	13,505,078
無形資産	7,149,438	6,826,461
持分法で会計処理されている投資	2,596,239	2,477,475
その他の金融資産	4,109,477	4,649,403
繰延税金資産	118,062	157,928
その他の非流動資産	134,055	138,890
非流動資産合計	29,653,515	30,899,425
資産合計	54,559,273	53,829,423

(単位：千円)

	前連結会計年度末 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間末 (2026年3月31日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,153,822	2,251,436
借入金	7,507,492	1,460,057
リース負債	754,466	771,474
その他の金融負債	481,000	699,339
未払法人所得税	615,501	1,181,739
契約負債	646,795	664,354
その他の流動負債	2,270,635	2,638,079
流動負債合計	14,429,714	9,666,482
非流動負債		
借入金	2,100,908	4,827,255
リース負債	517,517	614,700
その他の金融負債	788,499	559,774
引当金	213,336	265,972
繰延税金負債	1,690,602	1,512,130
その他の非流動負債	69,318	73,756
非流動負債合計	5,380,183	7,853,590
負債合計	19,809,897	17,520,072
資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	26,140,545	25,813,070
利益剰余金	10,182,504	12,051,503
自己株式	△1,792,117	△1,929,429
その他の資本の構成要素	△84,700	△214,746
親会社の所有者に帰属する持分合計	34,456,232	35,730,398
非支配持分	293,142	578,953
資本合計	34,749,375	36,309,351
負債及び資本合計	54,559,273	53,829,423

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

要約中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上収益	10,072,293	18,712,941
売上原価	△4,594,934	△9,507,833
売上総利益	5,477,359	9,205,107
販売費及び一般管理費	△3,331,665	△5,803,842
事業利益	2,145,694	3,401,264
その他の収益	1,412,875	19,471
その他の費用	△42,704	△73,300
営業利益	3,515,865	3,347,435
金融収益	6,892	44,989
金融費用	△226,718	△204,105
持分法による投資損益	△27,005	△116,692
税引前中間利益	3,269,033	3,071,627
法人所得税費用	△1,155,843	△1,135,972
中間利益	2,113,189	1,935,654
中間利益の帰属		
親会社の所有者	2,100,191	1,865,630
非支配持分	12,998	70,023
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	67.68	60.07
希薄化後1株当たり中間利益(円)	67.61	60.05

要約中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間利益	2,113,189	1,935,654
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融商品	60,995	△138,878
その他の包括利益合計	60,995	△138,878
中間包括利益	2,174,185	1,796,776
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,161,186	1,738,952
非支配持分	12,998	57,823

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2024年10月1日残高	10,000	26,145,713	7,481,468	△1,745,362
中間利益			2,100,191	
その他の包括利益				
中間包括利益合計	—	—	2,100,191	—
株式報酬取引		95,717		
子会社の支配喪失等に伴う変動		90,746		
企業結合による変動				
自己株式の処分		△23,280		23,280
子会社による自己新株予約権の取得		△120,000		
非支配株主と締結した先渡契約に係る負債		△300,000		
その他		89,330		△89,330
所有者との取引額等合計	—	△167,486	—	△66,049
2025年3月31日残高	10,000	25,978,226	9,581,659	△1,811,412

	その他の資本の 構成要素	親会社の所有者に 帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2024年10月1日残高	336,343	32,228,163	87,581	32,315,744
中間利益		2,100,191	12,998	2,113,189
その他の包括利益	60,995	60,995		60,995
中間包括利益合計	60,995	2,161,186	12,998	2,174,185
株式報酬取引		95,717		95,717
子会社の支配喪失等に伴う変動		90,746	△65,924	24,821
企業結合による変動		—	219,446	219,446
自己株式の処分		—		—
子会社による自己新株予約権の取得		△120,000		△120,000
非支配株主と締結した先渡契約に係る負債		△300,000		△300,000
その他		—		—
所有者との取引額等合計	—	△233,536	153,521	△80,014
2025年3月31日残高	397,338	34,155,813	254,101	34,409,915

当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2025年10月1日残高	10,000	26,140,545	10,182,504	△1,792,117
中間利益			1,865,630	
その他の包括利益				
中間包括利益合計	—	—	1,865,630	—
株式報酬取引		30,011		
子会社に対する所有持分の変動		78,203		
企業結合による変動				
自己株式の取得				△144,002
自己株式の処分		△6,690		6,690
子会社による自己新株予約権の取得		△18,000		
非支配株主と締結した先渡契約に係る負債		△411,000		
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			3,368	
所有者との取引額等合計	—	△327,474	3,368	△137,312
2026年3月31日残高	10,000	25,813,070	12,051,503	△1,929,429

	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2025年10月1日残高	△84,700	34,456,232	293,142	34,749,375
中間利益		1,865,630	70,023	1,935,654
その他の包括利益	△126,678	△126,678	△12,200	△138,878
中間包括利益合計	△126,678	1,738,952	57,823	1,796,776
株式報酬取引		30,011		30,011
子会社に対する所有持分の変動		78,203	△77,069	1,134
企業結合による変動		—	305,055	305,055
自己株式の取得		△144,002		△144,002
自己株式の処分		—		—
子会社による自己新株予約権の取得		△18,000		△18,000
非支配株主と締結した先渡契約に係る負債		△411,000		△411,000
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△3,368	—		—
所有者との取引額等合計	△3,368	△464,787	227,986	△236,800
2026年3月31日残高	△214,746	35,730,398	578,953	36,309,351

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	3,269,033	3,071,627
減価償却費及び償却費	950,954	1,266,662
金融収益	△6,892	△44,989
金融費用	226,718	204,105
持分法による投資損益(△は益)	27,005	116,692
その他の収益	△1,412,875	△19,471
株式報酬費用	95,717	30,011
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	△143,163	△719,532
棚卸資産の増減(△は増加)	3,808	139,773
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	40,810	30,157
契約負債の増減(△は減少)	△14,808	17,558
その他の資産の増減(△は増加)	△266,386	△663,340
その他の負債の増減(△は減少)	95,136	157,401
その他	△210,376	45,877
小計	2,654,681	3,632,535
利息の受取額	6,442	16,977
配当金の受取額	—	7,171
利息の支払額	△28,106	△78,323
法人所得税の支払額	△381,133	△758,547
法人所得税の還付額	200,297	35,786
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,452,181	2,855,600
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△93,534	△98,883
無形資産の取得による支出	△330,300	△428,290
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△333,666	—
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	200,000	—
持分法で会計処理されている投資の払戻による収入	46,875	3,268
その他の金融資産の取得による支出	△2,650	△658,798
その他の金融資産の売却による収入	—	28,200
子会社の取得による支出	△808,965	△252,748
子会社の支配喪失による支出	△75,814	—
貸付金の回収による収入	—	29,373
その他	8,260	△26,445
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,389,795	△1,404,325
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	795,000	3,337,000
借入金の返済による支出	△402,227	△7,162,169
リース負債の返済による支出	△418,100	△454,899
自己株式の取得による支出	—	△144,002
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△555,454
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,327	△4,979,525
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,037,058	△3,528,250
現金及び現金同等物の期首残高	15,265,932	19,358,045
売却目的で保有する資産への振替に伴う増減額(△は減少)	220,228	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	16,523,219	15,829,794

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメント

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはサービス別のセグメントから構成されており、報告セグメントは、「AI Research & Solution事業」、「AI SaaS事業」及び「AI Powered Worker事業」で構成されております。

「AI Research & Solution事業」では、アルゴリズム・知能化技術の事業化を行っており、パートナー企業のニーズに合わせて共同研究開発からソリューションの提供までを一気通貫で実施しております。また、実オペレーションを通じた製品/サービス開発の一環で、IoT機器からリアル空間のデータをクラウド上に収集し顧客への価値提供を実現するサービスの開発を、駐車場機器の製造販売事業を通じて行っております。

「AI SaaS事業」では、AI Research & Solution事業におけるアルゴリズムの開発成果をもとに、汎用的なニーズに対応するプロダクトを販売しております。AI SaaSプロダクトは「顧客接点」・「社内業務」領域で利用されており、人の業務を効率化し能力を拡張していく形で、ビジネス支援や企業の課題解決を実現しております。

「AI Powered Worker事業」では、AI Research & Solution事業・AI SaaS事業における開発成果やプロダクトの知見を活かした多様な領域向けのAIエージェントによってプロフェッショナル人材の能力を拡張（エンパワー）して顧客への価値提供を行っております。具体的には、当社AI技術を活用しながら、幅広い人事ソリューションやマッチングプラットフォームを通じたプロフェッショナル人材のスキルや知見の提供により、企業の課題解決を実現しております。

当中間連結会計期間において、当社グループにおけるAIの提供形態の深化・拡張をふまえ報告セグメントの再定義を行った結果、従来の「AI Research & Solution事業」及び「AI SaaS事業」の2区分から、「AI Research & Solution事業」、「AI SaaS事業」及び「AI Powered Worker事業」の3区分へ変更しております。

また、当中間連結会計期間に実施した内部管理組織の変更に伴い、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、各報告セグメントに帰属する費用と全社費用の範囲を見直しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、これら変更後の報告セグメントの区分及び測定方法に基づき表示しております。この測定方法の変更の結果、「AI Research & Solution事業」のセグメント利益及び全社費用が、それぞれ48,781千円増加しております。

(2) 報告セグメント情報

報告セグメントの会計処理の方法は、当社グループの連結財務諸表における会計方針と同一であり、報告セグメントの利益は、事業利益ベースの数値であります。事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出しております。また、セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

前中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	要約中間 連結財務諸表 計上額
	AI Research & Solution	AI SaaS	AI Powered Worker	計		
売上収益						
外部顧客への売上収益	5,000,735	4,163,481	908,075	10,072,293	—	10,072,293
セグメント間の内部売上 収益	8,704	75,427	33	84,166	△84,166	—
計	5,009,440	4,238,909	908,109	10,156,459	△84,166	10,072,293
セグメント利益	1,180,903	1,525,109	119,438	2,825,451	△679,757	2,145,694
その他の収益						1,412,875
その他の費用						△42,704
営業利益						3,515,865
金融収益						6,892
金融費用						△226,718
持分法による投資損益						△27,005
税引前中間利益						3,269,033

- (注) 1. セグメント利益の調整額△679,757千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない要約中間連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。
2. 当中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間のセグメント情報については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

当中間連結会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	要約中間 連結財務諸表 計上額
	AI Research & Solution	AI SaaS	AI Powered Worker	計		
売上収益						
外部顧客への売上収益	6,507,052	5,533,811	6,672,076	18,712,941	—	18,712,941
セグメント間の内部売上 収益	56,998	79,738	30,132	166,869	△166,869	—
計	6,564,050	5,613,550	6,702,209	18,879,810	△166,869	18,712,941
セグメント利益	1,886,187	1,856,486	536,838	4,279,512	△878,247	3,401,264
その他の収益						19,471
その他の費用						△73,300
営業利益						3,347,435
金融収益						44,989
金融費用						△204,105
持分法による投資損益						△116,692
税引前中間利益						3,071,627

- (注) セグメント利益の調整額△878,247千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない要約中間連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

(後発事象)

該当事項はありません。